

コンバージョン(用途変更)の実例とこれから ～学校や住宅の空き建築の複合化活用～

主催 一般社団法人埼玉建築設計監理協会 (少子高齢対策委員会)

埼玉建築設計監理協会では、国土交通省がめざす都市集約(コンパクトシティ)形成の実現に向け、少子高齢化時代における都市問題に取り組んでおります。これまで2回の見学会を行ってきましたが、今回は特に既存建物を利用した「コンバージョン」をテーマに実例紹介と、その課題と、今後の可能性について発表し、討論できる勉強会を開催いたします。

会員及び、自治体向けのプログラムです。今後の企画・設計の一助になるかと思っておりますので、是非ご参加ください。

日時 平成31年2月28日 (木) 13:30～15:45 (13:10 受付開始)

会場 埼玉建産連研修センター 101 会議室

対象 会員、地方自治体関係者、一般(どなたでも) (定員 72 名)

参加費 地方自治体関係者 無料
会員、一般 2,000 円

スケジュール

- 13:30 主催者挨拶
- 13:35 実例紹介 (運営者や設計者から説明を行います)
- 14:20 用途変更の関連法規改正について (さいたま住宅検査センターの説明)
- 15:00 ディスカッション、会場からの質問(発表者に登壇いただきディスカッションを行います)
- 15:45 閉会

紹介する実例

		<p>用途変更に関する主な法改正</p> <p>国は空き家対策等の既存ストック活用に向けて建築基準法等について大幅に緩和を進めています(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途変更の手続が 100 m²以下→200 m²以下に緩和 ・3 階建以下 200 m²未満特建で主要構造部の耐火改修が不要に ・用途変更に関する全体計画認定制度の導入 <p>検査済証がない建物についても手法などについて言及します。</p>
<p>小学校→三郷市瑞沼市民センター</p>	<p>店舗+住宅→障がい者複合施設</p>	
<p>三郷市 2006 年転用</p>	<p>社会福祉法人とともに福祉会 2014 年転用</p>	
<p>体育館、講座室等の市民貸出しの他、就労支援や包括支援事業、子育て関連施設等に使われている。</p>	<p>検査済証のない建物の安全性確認を行い、発達支援センターとグループホームに転用した実例。</p>	

申込方法

申込書に必要事項を記入の上、申込先に FAX 又は、メールで送付してください。
締め切り 平成 31 年 2 月 20 日 (水)

アクセス

埼玉建産連研修センター案内図



埼玉建産連研修センター 101 会議室

さいたま市南区鹿手袋 4 丁目 1-7
JR 武蔵浦和駅より 徒歩 10 分

当日は駐車場が大変混雑いたしますので、お車でのご来場はお控えください。

申込・お問い合わせ先

埼玉建築設計監理協会 事務局 佐藤
〒336-0031 埼玉県さいたま市南区鹿手袋 4 丁目 1-7 埼玉建産連会館 6F
TEL:048-861-2304 FAX:048-863-2495 Email: info@sekkan.jp

コンバージョン(用途変更)の実例とこれから 申込書

参加者氏名	
勤務先・役職	
電話	
FAX	
Email	
所属	<input type="checkbox"/> 都道府県職員 <input type="checkbox"/> 市町村職員 <input type="checkbox"/> 設監協会員 <input type="checkbox"/> その他()

一般社団法人埼玉建築設計監理協会 宛

申込日 平成 31 年 月 日

FAX : 048-863-2495

E-mail : info@sekkan.jp